

平成30年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S05-03-01		
施設名	荒川総合スポーツセンター				
所在地	南千住六丁目45番5号				
部課名	地域文化スポーツ部スポーツ振興課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
	建築	昭和60年 2,930,000	国・都	区債	一般財源
	増改築① 増改築②				
併設施設	南千住野球場				
竣工年月日	昭和60年3月25日		常勤・非常勤	その他	
供用開始年月日	昭和60年6月1日	職員数	85		
構造	SRC造	階層	地上4階、地下1階		
面積	敷地面積	6412.09㎡			
	延床面積	12073.87㎡			
設置目的・経緯	スポーツ及びレクリエーションの普及・振興を図り、健康で文化的な区民生活の向上に寄与する				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	荒川総合スポーツセンター条例				
駐車場の状況	56台	バリアフリー 対応状況	● エレベーター ○ 点字ブロック	● だれでもトイレ ● スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	指定管理	TM共同事業体		期間	平成28年4月1日 平成31年3月31日	から まで
事業内容	①管理運営 (小体育室、トレーニングルーム、温水プール、コミュニティホール、管理事務室、キッズルーム、エアライフル場、大体育室、卓球場、第1武道場、第2武道場、弓道場、洋室会議室、和室会議室、第1,2ｸﾗﾌﾞ室) ②教室・講習会 (固定会員制教室、3期制スポーツ教室、自由会員制教室、キッズルーム教室、自主事業教室等)					
対象者	一般区民他					
運営時間等	運営時間	午前8時～午後10時30分				
	休日	1月1日～1月3日、館内整備等による臨時休館				
施設基本データ等		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度 (見込み)
	団体利用者数 (人)	239,013	262,281	271,688	274,339	282,000
	個人利用者数 (人)	208,769	192,277	221,455	228,278	230,000
	教室受講者数 (人)	150,024	135,243	156,020	157,427	162,000
	大体育室稼働率 (%)	95	91	91.0	91	93
	小体育室稼働率 (%)	88.0	87	90	90	91
	教室開催数 (回)	7,168	6,546	7,186	7,154	7,186
	教室申込率 (%)	68	67	70	72	74
	開館日数 (日)	358	359	358	358	358
	に指定管理 等管理 費用	指定管理料 (千円)	98,268	111,079	102,968	99,957
指定管理者の支出合計 (千円)		273,225	263,824	272,991	273,878	269,831
指定管理者の人員費 (千円)		111,713	113,869	109,836	117,507	110,558
指定管理者の利用料金収入 (千円)		156,713	140,034	163,709	162,415	150,331
備考	・団体利用者数、個人利用者数、教室受講者数とともに順調に増加している。 ※プール利用停止のため、平成27年度は個人利用者数、教室受講者数、教室開催数が減少している。					

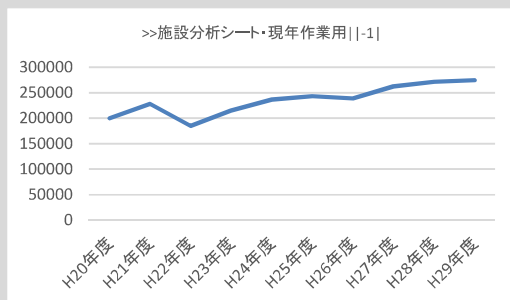
III 財務諸表

(単位:千円)								
行政コスト計算書	勘定科目	H28年度	H29年度	差額	勘定科目	H28年度	H29年度	差額
	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
	物件費	105,594	100,956	▲ 4,638	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	40	47	7	使用料及び手数料	7,672	7,503	▲ 169
	減価償却費	79,066	79,066	0	その他	15,670	8,486	▲ 7,184
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	23,342	15,989	▲ 7,353
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 161,358	▲ 164,080	▲ 2,722
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	184,700	180,069	▲ 4,631	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 161,358	▲ 164,080	▲ 2,722
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 161,358	▲ 164,080	▲ 2,722
貸借対照表	勘定科目	H28年度	H29年度	差額	勘定科目	H28年度	H29年度	差額
	流動資産	0	0	0	流動負債	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0
	有形固定資産	1,453,634	1,374,568	▲ 79,066	賞与引当金	0	0	0
	土地	1,055,377	1,055,377	0	その他の流動負債	0	0	0
	建物	2,928,362	2,928,362	0	固定負債	0	0	0
	建物減価償却累計額	▲ 2,530,105	▲ 2,609,171	▲ 79,066	特別区債	0	0	0
	工作物等	11,725	11,725	0	退職給与引当金	0	0	0
	工作物等減価償却累計額	▲ 11,725	▲ 11,725	0	その他の固定負債	0	0	0
	無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	0	0	0
	建設仮勘定	10,000	50,380	40,380	正味財産	1,463,634	1,424,948	▲ 38,686
	その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	1,463,634	1,424,948	▲ 38,686
資産の部合計	1,463,634	1,424,948	▲ 38,686	負債及び正味財産の部合計	1,463,634	1,424,948	▲ 38,686	
備考	行政費用について、小規模修繕費は物件費に含まれている。行政収入では、行政財産使用料(自動販売機)、指定管理者からの収益還元があった。指定管理者制度を導入し、利用料金制を取っているため、使用料収入は指定管理者の収入となっている(本シートに計上されない)。							

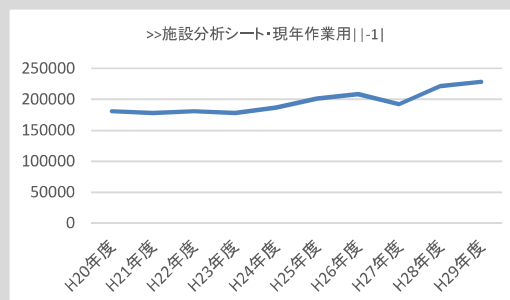
指標		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	-	-	87	89.1	
	有形固定資産減価償却率(80年)(%)	-	-	40	40.2	
	1㎡当たりコスト(円)	-	-	15,297	14,914	
	人にかかるコストの割合(指定管理)(%)	-	-	40	42.9	
	利用者1人当たりコスト(円)	-	-	285	273	
	区民1人当たりコスト(円)	-	-	866	839	
	受益者負担比率(%)	-	-	54	45.9	
	開館1日当たりコスト(円)	-	-	515,922	502,986	
備考	区民1人当たり・会館1日当たりコストがスポーツハウス(委託方式で運営)と比較して低いのは、運営方法に違いによるものである。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(見込み)
目標指標	指標名・単位	目標値	-	-	-	662,100	674,000
	利用者数	実績値	597,806	589,801	649,163	660,044	674,000
施設運営の方向性	<input type="radio"/> 転用・多目的化 <input type="radio"/> 民営化 <input type="radio"/> 他施設との統合 <input type="radio"/> 廃止 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> その他()						
管理形態の変更の推移	<input checked="" type="radio"/> 有 (変更内容: 平成19年度から指定管理者制度を導入) <input type="radio"/> 無						
利用者・地域のニーズ	○区のスポーツ振興の中心的な施設として、多くの区民にスポーツを楽しむ施設として利用されている。						
現状・課題	<input type="radio"/> 施設や設備の計画的な修繕が必要である。 <input type="radio"/> 平成31年度に予定している大規模改修において、既存設備を更新するとともに、バリアフリーの観点を含めることで、障がい者や高齢者を含めた多くの区民がスポーツを楽しむ環境を整備する必要がある。 <input type="radio"/> 改修工事期間中、区民体育大会等の開催会場の確保及びその他スポーツ施設の管理等業務を行うための施設や運営方法等を確保する必要がある。 <input type="radio"/> 区民ニーズに即した運営が行われているが、障がい者スポーツの推進、地域との連携について更なる取組が必要である。						
課題に対する現時点での考え	<input type="radio"/> 関係団体や利用者等からの意見・要望を踏まえた設計を実施する。 <input type="radio"/> 区内の学校等の体育館の利用について調整を進める。 <input type="radio"/> その他スポーツ施設管理等業務を行うための施設について、利用者には不便が生じないよう配慮した上で、施設設置場所及び運営方法等について検討を進める。 <input type="radio"/> 障がい者スポーツに関わる資格を有する職員の育成、地域との連携強化について指定管理者へ働きかけを行う。						
議会、利用者等からの意見	<input type="radio"/> H28年決特 スポーツセンター 指定管理の決算について <input type="radio"/> H29年予特 大規模改修時の代替施設について						



平成22年度以降、順調に増加している。



プール利用停止により、平成27年度の利用者数が減少している。

平成30年度 施設分析シート

施設の概要		施設コード	S05-03-02		
施設名	荒川遊園スポーツハウス				
所在地	西尾久八丁目3番1号				
部課名	地域文化スポーツ部スポーツ振興課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)		
	建築	平成5年 3,070,000	国・都	区債	一般財源
	増改築				
	増改築				
併設施設					
竣工年月日	平成5年6月24日		常勤・非常勤	その他	
供用開始年月日	平成5年7月26日	職員数	79		
構造	RC造(一部S造)	階層	地上3階、地下1階		
面積	敷地面積	1399.9㎡			
	延床面積	4493.12㎡			
設置目的・経緯	広く区民の利用に供し、区民の健康の増進と体力の維持向上を図るとともに、スポーツの振興に寄与する。				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	荒川遊園スポーツハウス条例				
駐車場の状況	無	バリアフリー	エレベーター	だれでもトイレ	
駐輪場の状況	45台	対応状況	点字ブロック	スロープ	



管理運営の状況

管理形態	委託	株式会社ドゥ・スポーツプラザ	期間	平成29年4月1日 平成30年3月31日	から まで	
事業内容	施設の管理運営(アリーナ、トレーニングルーム、会議室1,2、事務室、温水プール) 教室運営(通年制水泳教室、通年制スポーツ教室、アリーナ自由会員制教室等)					
対象者	一般区民他					
運営時間等	運営時間	午前9時~午後9時30分				
	休日	年末年始(12月29日から1月3日)、館内整備等による臨時休館				
施設基本データ等		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度(見込み)
	団体利用者数(人)	15,529	17,583	19,086	17,535	20,000
	個人利用者数(人)	84,239	90,109	88,861	88,271	92,000
	教室受講者数(人)	58,214	56,991	58,160	54,341	60,600
	アリーナ稼働率(%)	29	28	44.0	49	50
	会議室稼働率(%)	24.0	26	28	24	24
	教室開催数(回)	2,512	2,506	2,509	2,285	2,514
	教室申込率(%)	48	48	49	50	52
	開館日数(日)	355	354	355	355	355
	委託料(千円)	86,941	89,283	91,964	101,825	92,852
指定に係る管理費用						
備考	・空調設備改修に伴い、平成29年度に一部施設の利用を停止(会議室:4~5月、アリーナ:7~8月)。 ・一部施設利用停止に伴い、平成29年度は団体利用者数、個人利用者数、教室受講者数ともに減少。					

財務諸表

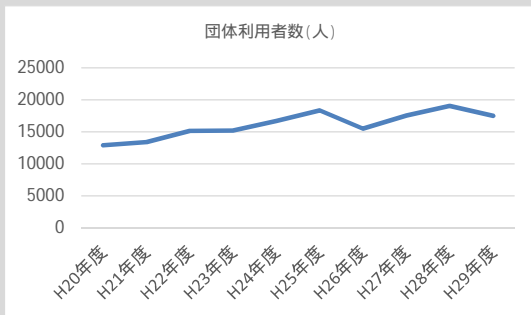
(単位:千円)

	勘定科目			勘定科目				
	H28年度	H29年度	差額	H28年度	H29年度	差額		
行政コスト計算書	給与関係費	10,360	11,665	1,305	地方税等	0	0	0
	物件費	149,282	182,014	32,732	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	4,860	8,735	3,875	都支支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	46,324	43,791	2,533
	減価償却費	82,888	82,888	0	その他	29,915	29,244	671
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	76,239	73,035	3,204
	賞与・退職給与引当金繰入額	2,901	3,224	323	行政収支差額(a)-(b)-(c)	174,052	215,491	41,439
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	250,291	288,526	38,235	通常収支差額(c)+(d)=(e)	174,052	215,491	41,439
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	174,052	215,491	41,439
	貸借対照表	勘定科目			勘定科目			
H28年度		H29年度	差額	H28年度	H29年度	差額		
流動資産				流動負債				
収入未済		0	0	0	559	559		
不納欠損引当金		0	0	0	0	0		
その他の流動資産		0	0	0	0	0		
有形固定資産		1,163,501	1,121,929	41,572	特別区債	0	0	
土地		0	0	0	賞与引当金	0	559	
建物		3,069,923	3,111,239	41,316	その他の流動負債	0	0	
建物減価償却累計額		1,906,422	1,989,310	82,888	固定負債	0	8,165	
工作物等		37,588	37,588	0	特別区債	0	0	
工作物等減価償却累計額		37,588	37,588	0	退職給与引当金	0	8,165	
無形固定資産		0	0	0	その他の固定負債	0	0	
建設仮勘定	3,461	3,461	0	負債の部合計	0	8,724		
その他の固定資産	0	10,359	10,359	正味財産	1,166,962	1,127,025		
資産の部合計	1,166,962	1,135,749	31,213	正味財産の部合計	1,166,962	1,127,025		
				負債及び正味財産の部合計	1,166,962	1,135,749		
備考	行政費用では、物件費が多くなっている。物件費の大部分は委託料であり、主たる経費は施設の管理運営に要する委託料である。平成29年度は、トレーニング機器入れ替え、小規模修繕の増加による増のほか、プール可動式屋根等の修繕により維持補修費も増加した。行政収入では、行政財産使用料(自動販売機)、自動販売機電気料の収入があった。							

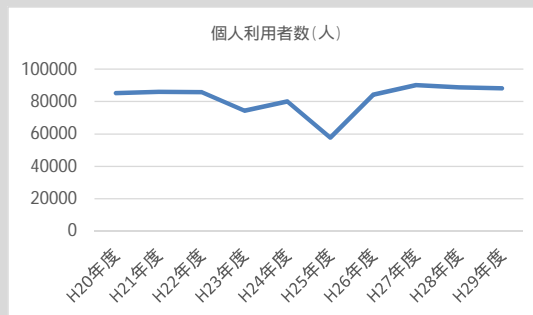
指標	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(見込み)
有形固定資産減価償却率(%)	-	-	63	64.4	
有形固定資産減価償却率(80年)(%)	-	-	32	31.1	
1㎡当たりコスト(円)	-	-	52,754	64,215	
受益者負担比率(%)	-	-	20	15.2	
開館1日当たりコスト(円)	-	-	667,690	812,749	
利用者1人当たりコスト(円)	-	-	1,427	1,802	
区民1人当たりコスト(円)	-	-	1,112	1,344	
財務指標・評価指標等					
備考	管理運営は委託方式を採用しているため、スポーツセンターと比較して物件費が多くかかっていることにより、開館1日当たりコスト・利用者1人当たりコストが多くかかっている。				

施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	無	有(計画名:)	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(見込み)
目標指標	指標名・単位	目標値					
	利用者数	実績値	157,982	164,683	166,107	169,400	172,600
施設運営の方向性	転用・多目的化 現状維持	民営化 その他(指定管理者制度の導入検討)	他施設との統合		廃止		
管理形態の変更の推移	有(変更内容:) 無						
利用者・地域のニーズ	尾久地区居住者の利用が多く、地域密着型の施設として利用されている。						
現状・課題	施設や設備の計画的な修繕を実施する必要がある。 バリアフリー環境を目指し、障がい者や高齢者を含めた多くの区民が利用しやすい施設とする必要がある。 荒川総合スポーツセンターとの連携を含め、効率的・効果的な管理・運営方法等の検討が必要である。 荒川総合スポーツセンター大規模改修期間中の代替施設としての役割が求められている。						
課題に対する現時点での考え	利用者からの意見・要望を踏まえて、施設運営や修繕において改善を検討する。 トレーニング機器を更新した。今後は幅広い層の利用者増加につなげる。 指定管理者制度の導入を含めて検討を進める。 荒川総合スポーツセンター大規模改修期間中の代替施設として、受入れ可能な体制(ハード・ソフト)の整備に努める。						
議会、利用者等からの意見	H26 6月定例会 ボルダリングの設置について H29 予特 音響設備の更新、会議室什器の更新、子ども用便座の設置について						



平成29年度は、一部施設利用停止により利用者数が減少している。



平成25年度は、温水プール利用休止により利用者数が大きく減少している。

平成30年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S05-03-03			
施設名	南千住野球場					
所在地	南千住六丁目45番6号					
部課名	地域文化スポーツ部スポーツ振興課					
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)			
	建築	昭和57年7月 5,600,000	国・都	区債	一般財源	
	増改築① 増改築②					
併設施設						
竣工年月日	昭和57年7月		常勤・非常勤	その他		
供用開始年月日	昭和57年7月	職員数				
構造						
面積	敷地面積				17,415	m ²
	延床面積					m ²
設置目的・経緯	区民の体力向上と健康の増進を図ることを目的とする。					
関連部署						
根拠法令等 設置条例	荒川区営運動場の設置、管理に関する条例					
駐車場の状況	56台	バリアフリー 対応状況	<input type="checkbox"/> エレベーター	<input type="checkbox"/> だれでもトイレ		
駐輪場の状況	250台		<input type="checkbox"/> 点字ブロック	<input type="checkbox"/> スロープ		



II 管理運営の状況

管理形態	委託	下記のとおり	期間	下記のとおり 下記のとおり	から まで	
事業内容	①体育施設受付及び貸出業務(野球場2面): T M共同事業体 (H28.4.1~H31.3.31) ②補修管理(野球場2面、外周): ケルンビルシステム (H30.4.1~H31.3.31)					
対象者	一般区民他、区民以外も可					
運営時間等	運営時間	4~10月9:00~20:45(日・祝は7:00~)、11~2月9:00~15:30、3月9:00~17:30				
	休日	年始1/1~1/3				
施設基本データ等	野球場利用者数	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度(見込み)
		25,308	24,930	23,760	24,876	25,200
	野球場(件数)	1,406	1,385	1,320	1,382	1,400
	稼働率	49	49	47	49	-
	開場日数	362	363	362	362	362
	委託料(円)	4,073,824	3,885,580	3,847,780	8,885,440	-
に指定 等管理 費用						
備考	屋外施設のため、天候により稼働率が変動するが休日は80%以上、平日は30%程度利用されている。					

III 財務諸表

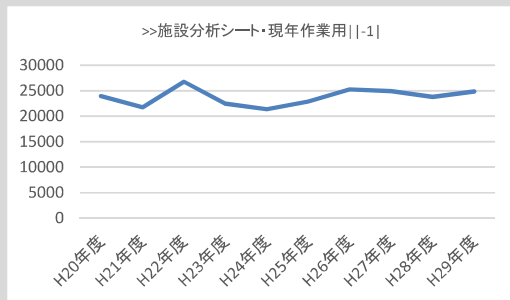
(単位:千円)

行政コスト計算書		勘定科目	H28年度	H29年度	差額	勘定科目	H28年度	H29年度	差額
行政コスト計算書	行政費用	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
		物件費	13,614	13,810	196	国庫支出金	0	0	0
		維持補修費	317	522	205	都支出金	0	0	0
		扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
		補助費等	0	5	5	使用料及び手数料	2,787	2,986	199
		減価償却費	54	54	0	その他	0	0	0
		不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	2,787	2,986	199
		賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 11,198	▲ 11,405	▲ 207
		その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
		行政費用合計(b)	13,985	14,391	406	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 11,198	▲ 11,405	▲ 207
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 11,198	▲ 11,405	▲ 207		
貸借対照表	流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	0	0	0
		不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
		その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0
		有形固定資産	3,067,374	3,067,320	▲ 54	賞与引当金	0	0	0
		土地	3,066,735	3,066,735	0	その他の流動負債	0	0	0
		建物	0	0	0	固定負債	0	0	0
		建物減価償却累計額	0	0	0	特別区債	0	0	0
		工作物等	350,077	350,077	0	退職給与引当金	0	0	0
		工作物等減価償却累計額	▲ 349,438	▲ 349,491	▲ 53	その他の固定負債	0	0	0
		無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	0	0	0
建設仮勘定	0	0	0	正味財産	3,067,374	3,067,320	▲ 54		
その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	3,067,374	3,067,320	▲ 54		
資産の部合計	3,067,374	3,067,320	▲ 54	負債及び正味財産の部合計	3,067,374	3,067,320	▲ 54		
備考	行政費用では、物件費が多くかかっており、大部分を占めるのは委託料である。主たる内訳は日常補修業務委託6,975千円 の他、照明点検、受付業務等に要する経費である。								

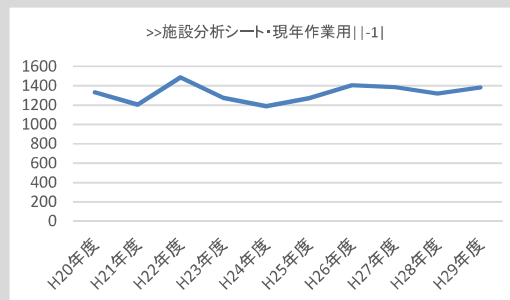
	指標	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却費(%)	-	-	100	99.8	
	有形固定資産減価償却率(80年)(%)	-	-	100	99.8	
	1㎡当たりコスト(円)	-	-	803	826	
	受益者負担比率(%)	-	-	20	20.7	
	開館1日当たりコスト(円)	-	-	38,633	39,754	
	利用者1人当たりコスト(円)	-	-	589	579	
	区民1人当たりコスト(円)	-	-	66	67	
備考	各コストとも大きな変動なく推移している。他の野球場と比較して1人当たりにかかるコストが低いのは、立地状況が良く、平日昼間の稼働率が他と比較して高いためである。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(見込み)
	利用件数	目標値 -	-	-	1,400	1,400
		実績値 1,406	1,385	1,320	1,382	-
施設運営の方向性	<input type="radio"/> 転用・多目的化 <input type="radio"/> 民営化 <input type="radio"/> 他施設との統合 <input type="radio"/> 廃止 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> その他()					
管理形態の変更の推移	<input type="radio"/> 有 (変更内容:) <input checked="" type="radio"/> 無					
利用者・地域のニーズ	立地に恵まれ、設備も整っているため平日昼間の利用率も高い。					
現状・課題	<input type="radio"/> 野球場外周の樹木に害虫が発生しやすいため剪定や消毒などの対策が必要である。 <input type="radio"/> 野球場は区道、民間住宅に隣接しているため安全対策が必要である。					
課題に対する現時点での考え	<input type="radio"/> 施設周辺の歩行者等への注意喚起を図るとともに、施設の安全対策(樹木剪定、ネット設置の検討)を実施する。					
議会、利用者等からの意見						



近年は例年どおりで推移している。



近年は例年どおりで推移している。

平成30年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S05-03-04		
施設名	東尾久運動場				
所在地	東尾久七丁目1番1号				
部課名	地域文化スポーツ部スポーツ振興課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
	建築	平成3年5月	国・都	区債	一般財源
	増改築① 増改築②				
併設施設					
竣工年月日	平成3年5月		常勤・非常勤	その他	
供用開始年月日	平成3年5月	職員数	0	1	
構造			階層		
面積	敷地面積				29,195 m ²
	延床面積				114 m ²
設置目的・経緯	区民の体力向上と健康の増進を図ることを目的とする。				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	荒川区営運動場の設置、管理に関する条例				
駐車場の状況	30台	バリアフリー 対応状況	<input type="checkbox"/> エレベーター <input type="checkbox"/> 点字ブロック	<input type="checkbox"/> だれでもトイレ <input type="checkbox"/> スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	委託	下記のとおり	期間	下記のとおり	から まで	
事業内容	①管理：テニス5面（人工芝）、小広場、スリ・オスリ、多目的広場：シルバー人材センター（H30.4.1～H31.3.31） ②補修：テニス5面（人工芝）、小広場、スリ・オスリ、多目的広場：六創園（H30.4.1～H31.3.31） ③駐車場機器等管理運営業務：業者選定中（H30.7～H33.3.31）					
対象者	一般区民他					
運営時間等	運営時間	4～9月9:00～18:00、10・3月9:00～17:00、11～2月9:00～16:00（4～10月土日祝7:00～、11～12月土日祝8:00～）				
	休日	年末年始12/29～1/3				
施設基本データ等	庭球場、多目的広場等利用者数	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度（見込み）
		42,812	39,512	40,195	26,824	32,700
	庭球場、多目的広場等（件数）	10,841	10,281	10,837	8,732	9,600
	稼働率（庭球場）	59	60	60	51	-
	稼働率（多目的）	58	61	45	49	-
	開場日数	359	360	359	359	359
	委託料（円）	8,938,890	9,080,052	9,429,450	18,887,040	-
	に指定 等管理 費用					
備考	H29は下記事由により利用者件数が減少 多目的広場：拡張整備工事（H29年5月～H30年9月（予定）） 庭球場：人工芝改修工事（H29年7月～8月）、H30年1・2月の降雪による休場					

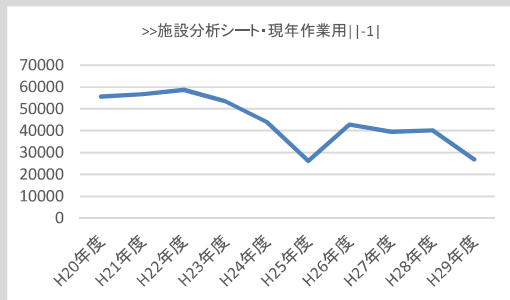
III 財務諸表

		勘定科目			勘定科目			(単位:千円)			
		H28年度	H29年度	差額	H28年度	H29年度	差額	H28年度	H29年度	差額	
行政コスト計算書	行政費用	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0	0	
		物件費	9,833	9,045	▲ 788	国庫支出金	0	0	0	0	
		維持補修費	778	663	▲ 115	都支支出金	0	0	0	0	
		扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	0	
		補助費等	0	4,987	4,987	使用料及び手数料	4,956	3,998	▲ 958	0	0
		減価償却費	855	855	0	その他	10,111	418	▲ 9,693	0	0
		不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	15,067	4,416	▲ 10,651	0	0
		賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	3,601	▲ 50,210	▲ 53,811	0	0
		その他行政費用	0	39,076	39,076	金融収支差額(d)	0	0	0	0	0
		行政費用合計(b)	11,466	54,626	43,160	通常収支差額(c)+(d)=(e)	3,601	▲ 50,210	▲ 53,811	0	0
		特別費用(g)	0	5,022	5,022	特別収入(f)	0	0	0	0	0
		特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	▲ 5,022	▲ 5,022	当期収支差額(e)+(h)	3,601	▲ 55,232	▲ 58,833	0	0
		貸借対照表	固定資産	収入未済	0	0	0	流動負債	0	0	0
不納欠損引当金	0			0	0	還付未済金	0	0	0	0	
その他の流動資産	0			0	0	特別区債	0	0	0	0	
有形固定資産	3,706			6,768	3,062	賞与引当金	0	0	0	0	
土地	0			0	0	その他の流動負債	0	0	0	0	
建物	25,905			25,905	0	固定負債	0	0	0	0	
建物減価償却累計額	▲ 22,198			▲ 23,053	▲ 855	特別区債	0	0	0	0	
工作物等	40,168			44,085	3,917	退職給与引当金	0	0	0	0	
工作物等減価償却累計額	▲ 40,168			▲ 40,168	0	その他の固定負債	0	0	0	0	
無形固定資産	0			0	0	負債の部合計	0	0	0	0	
建設仮勘定	5,022			6,900	1,878	正味財産	8,728	13,668	4,940	0	
その他の固定資産	0			0	0	正味財産の部合計	8,728	13,668	4,940	0	
資産の部合計	8,728			13,668	4,940	負債及び正味財産の部合計	8,728	13,668	4,940	0	
備考	行政費用では、物件費とその他行政費用が多くかかっている。物件費の大部分を占めるのは委託料であり、主たる内訳は日常補修業務5,431千円、貸出業務3,543千円である。その他行政費用は、多目的広場拡張整備工事及びテニスコートの人工芝改修に要した経費である。										

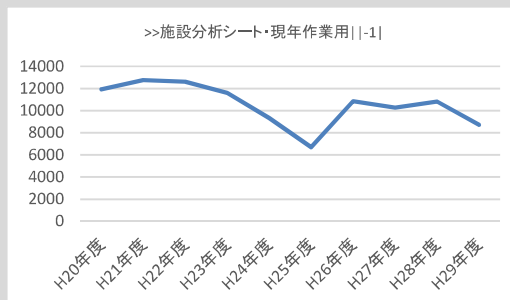
指標		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	-	-	94	90.3	
	有形固定資産減価償却率(80年)(%)	-	-	74	69.4	
	1㎡当たりコスト(円)	-	-	405	1,928	
	受益者負担比率(%)	-	-	43	7.3	
	開館1日当たりコスト(円)	-	-	31,939	152,162	
	利用者1人当たりコスト(円)	-	-	285	2,036	
	区民1人当たりコスト(円)	-	-	54	255	
備考	平成29年度の開館1日当たりコスト、利用者1人当たりコストが高いのは、拡張整備工事により施設を休場(H29.5~H30.9)していたことによるものである。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(見込み)
	利用件数	目標値 -	目標値 -	目標値 -	9,500	9,600
		実績値 10,841	10,281	10,837	8,732	-
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他()					
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無					
利用者・地域のニーズ	テニスコートは平日も利用率が高い					
現状・課題	○テニスコート人工芝を安全に利用できる状態に保つ方策が必要である。 ○多目的広場拡張整備工事後のリニューアルオープンについて、広く区民に周知し利用促進を図る必要がある。					
課題に対する現時点での考え	○テニスコート人工芝を適切な状態に保つため、休場日を設け定期的にメンテナンスを行う。 ○多目的広場のリニューアルオープンについて、区報、HPを活用した周知と合わせ、各競技団体への周知等を積極的に行う。					
議会、利用者等からの意見	○H29年決特 多目的広場の人工芝化についてフェンスの高さの検討について					



H25年は土壌対策工事、H29年は多目的整備工事により減少



H25年は土壌対策工事、H29年は多目的整備工事により減少

平成30年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S05-03-05		
施設名	区民運動場				
所在地	西尾久三丁目14番3号				
部課名	地域文化スポーツ部スポーツ振興課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
建築	昭和54年3月				
増改築①	平成27年4月	370,000			
増改築②					
併設施設					
竣工年月日	昭和54年3月		常勤・非常勤	その他	
供用開始年月日	昭和54年3月		職員数	0	1
構造					
面積	敷地面積		7,339 m ²		
	延床面積		569 m ²		
設置目的・経緯	区民の体力向上と健康の増進を図ることを目的とする。				
関連部署	教育委員会事務局 教育施設課				
根拠法令等 設置条例	荒川区営運動場の設置、管理に関する条例				
駐車場の状況	無	バリアフリー	エレベーター	だれでもトイレ	
駐輪場の状況	20台	対応状況	点字ブロック	スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	委託	下記のとおり	期間	下記のとおり	から	
				下記のとおり	まで	
事業内容	①管理業務（管理事務所・多目的グラウンド・小広場・駐輪場） ：シルバー人材センター（H30.4.1～H31.3.31） ②補修業務（多目的グラウンド・小広場・駐輪場）：中田興業（H30.4.1～H31.3.31） ③清掃業務（管理事務所）：エクシズ（H30.4.1～H33.3.31）					
対象者	一般区民他					
運営時間等	運営時間	土日祝の9:00～17:00（5月～9月は1時間延長可）				
	休日	平日、年末年始12/29～1/3、土日祝の学校行事及び授業公開日等				
施設基本データ等	多目的グラウンド利用者数	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度（見込み）
	小広場利用者数	-	8,426	8,096	7,722	9,020
	多目的グラウンド（件数）	-	648	1,272	1,278	1,380
	小広場（件数）	-	383	368	351	410
	稼働率（多目的）	-	324	636	639	690
	稼働率（小広場）	-	86	94	97	-
	開場日数	-	36	82	85	-
	委託料（円）	-	117	116	119	121
に指定 管理等 費用	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度（見込み）	
	1,163,700	8,627,390	6,319,143	6,335,414	-	
備考	土日祝のみの貸出であるため、稼働率は高く推移している。					

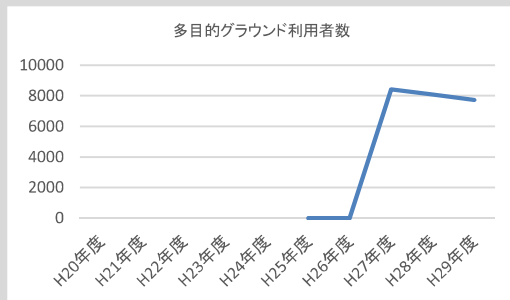
III 財務諸表

		勘定科目			勘定科目			(単位:千円)			
		H28年度	H29年度	差額	H28年度	H29年度	差額	H28年度	H29年度	差額	
行政コスト計算書	行政費用	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0	0	
		物件費	6,660	6,669	9	国庫支出金	0	0	0	0	
		維持補修費	29	0	▲29	都支出金	0	0	0	0	
		扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	0	
		補助費等	0	1	1	使用料及び手数料	719	650	▲69	0	0
		減価償却費	30,940	30,940	0	その他	0	0	0	0	
		不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	719	650	▲69	0	0
		賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲36,910	▲36,960	▲50	0	0
		その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	0	0
		行政費用合計(b)	37,629	37,610	▲19	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲36,910	▲36,960	▲50	0	0
		特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	0	0
		特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲36,910	▲36,960	▲50	0	0
		貸借対照表	固定資産	収入未済	0	0	0	流動負債	0	0	0
不納欠損引当金	0			0	0	還付未済金	0	0	0	0	
その他の流動資産	0			0	0	特別区債	0	0	0	0	
有形固定資産	1,227,186			1,196,246	▲30,940	賞与引当金	0	0	0	0	
土地	709,032			709,032	0	その他の流動負債	0	0	0	0	
建物	217,754			217,754	0	固定負債	0	0	0	0	
建物減価償却累計額	▲23,517			▲29,397	▲5,880	特別区債	0	0	0	0	
工作物等	374,039			374,039	0	退職給与引当金	0	0	0	0	
工作物等減価償却累計額	▲50,121			▲75,182	▲25,061	その他の固定負債	0	0	0	0	
無形固定資産	0			0	0	負債の部合計	0	0	0	0	
建設仮勘定	0			0	0	正味財産	1,227,186	1,196,246	▲30,940	0	
その他の固定資産	0			0	0	正味財産の部合計	1,227,186	1,196,246	▲30,940	0	
資産の部合計	1,227,186			1,196,246	▲30,940	負債及び正味財産の部合計	1,227,186	1,196,246	▲30,940	0	
備考	行政費用では、物件費が多くかかっている。物件費の大部分を占めるのは委託料であり、主たる内訳は日常補修3,246千円、清掃業務1,865千円、管理業務996千円である。										

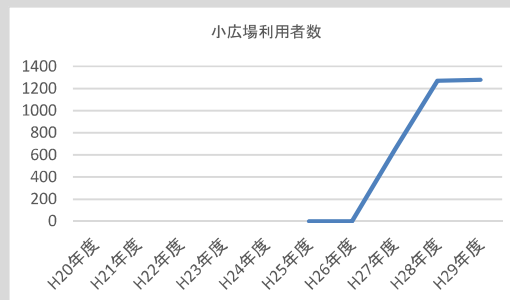
	指標	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	-	-	12	17.7	
	有形固定資産減価償却率(80年)(%)	-	-	10	14.5	
	1㎡当たりコスト(円)	-	-	5,127	5,125	
	受益者負担比率(%)	-	-	2	1.7	
	開館1日当たりコスト(円)	-	-	324,388	316,050	
	利用者1件当たりコスト(円)	-	-	4,017	4,179	
	区民1人当たりコスト(円)	-	-	176	175	
備考	各コストとも、大きな変動なく推移している。1日当たりコストが他の運動場と比較して高いのは、土日祝のみの可動によるものである。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(見込み)
	利用件数	目標値 -	-	-	1,100	1,100
		実績値 -	707	1,004	990	-
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他()					
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無					
利用者・地域のニーズ	区営スポーツ施設で唯一の人工芝グラウンドであり、雨天等においても利用可能であるなど利用しやすいことから少年サッカーの利用者が多い。					
現状・課題	○ 駐輪場の駐輪可能台数が限られているため、対応が必要である。 ○ 小広場では日陰がないため、熱中症対策が必要である。 ○ 人工芝は劣化していくため、今後は補修対応が必要となってくる。					
課題に対する現時点での考え	○ 大会等の開催時には、学校のスペースを活用し、駐輪場スペースを確保している。 ○ 日除けを確保するなどの熱中症対策を行う。あわせて、気温と人工芝の表面温度について計測し、必要に応じて利用者へ注意喚起を行っている。 ○ 施設の補修計画を立てて対応していく。					
議会、利用者等からの意見						



開設以降概ね例年どおりで推移している。



開設以降概ね例年どおりで推移している。

平成30年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S05-03-06		
施設名	荒川遊園運動場				
所在地	西尾久八丁目1番2号				
部課名	地域文化スポーツ部スポーツ振興課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
	建築	昭和62年4月			
	増改築①	平成5年10月	140,000		
	増改築②				
併設施設					
竣工年月日	平成5年4月		常勤・非常勤	その他	
供用開始年月日	平成5年4月	職員数	0	1	
構造		階層			
面積	敷地面積	5,430			m ²
	延床面積				m ²
設置目的・経緯	区民の体力向上と健康の増進を図ることを目的とする。				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	荒川区営運動場の設置、管理に関する条例				
駐車場の状況	無	バリアフリー 対応状況	<input type="radio"/> エレベーター	<input type="radio"/> だれでもトイレ	
駐輪場の状況	無		<input type="radio"/> 点字ブロック	<input type="radio"/> スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	委託	下記のとおり	期間	下記のとおり 下記のとおり	から まで	
事業内容	①受付・開閉場（運動場）：ドゥ・スポーツプラザ（H30.4.1～H31.3.31） ②補修業務（運動場）：上園緑地建設（H30.4.1～H31.3.31） ③樹木剪定（運動場・スポーツハウス）：パシフィック（H30.4.1～H31.3.31）					
対象者	一般区民他					
運営時間等	運営時間	9:00～20:00（日・祝は7:00～20:00）				
	休日	年末年始12/29～1/3				
施設基本データ等	運動場利用者数	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度（見込み）
		21,420	15,660	21,480	20,940	22,000
	運動場（件数）	1,071	783	1,074	1,047	1,100
	稼働率	63	63	62	64	—
	開場日数	359	360	359	359	359
	委託料（円）	6,204,588	7,067,747	5,337,036	6,755,272	—
に指定 等管理						
備考	H27は散水設備の設置工事を実施し、施設を休場（平成27年1～3月）					

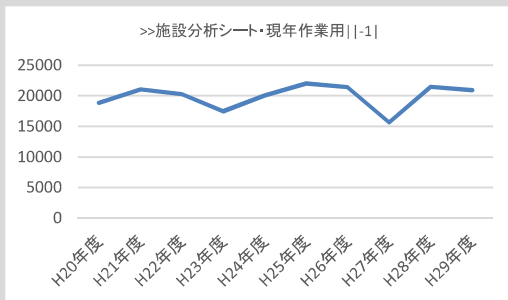
III 財務諸表

(単位:千円)								
行政コスト計算書	勘定科目	H28年度	H29年度	差額	勘定科目	H28年度	H29年度	差額
	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
	物件費	5,447	6,900	1,453	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	0	206	206	都支出金	0	0	0
	行政補助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	0	3	3	使用料及び手数料	1,291	1,091	▲ 200
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	1,291	1,091	▲ 200
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 4,156	▲ 6,018	▲ 1,862
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	5,447	7,109	1,662	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 4,156	▲ 6,018	▲ 1,862
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 4,156	▲ 6,018	▲ 1,862
貸借対照表	勘定科目	H28年度	H29年度	差額	勘定科目	H28年度	H29年度	差額
	流動資産				流動負債			
	収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	賞与引当金	0	0	0
	有形固定資産	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0
	土地	0	0	0	固定負債	0	0	0
	建物	0	0	0	特別区債	0	0	0
	建物減価償却累計額	0	0	0	退職給与引当金	0	0	0
	工作物等	140,235	140,235	0	その他の固定負債	0	0	0
	工作物等減価償却累計額	▲ 140,235	▲ 140,235	0	負債の部合計	0	0	0
	無形固定資産	0	0	0	正味財産	0	0	0
	建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	0	0	0
その他の固定資産	0	0	0	負債及び正味財産の部合計	0	0	0	
資産の部合計	0	0	0					
備考	行政費用のうち、物件費が多くかかっている。物件費の大部分を占めるのは委託料であり、主たる内訳は日常補修委託3,424千円、外周樹木剪定3,059千円である。							

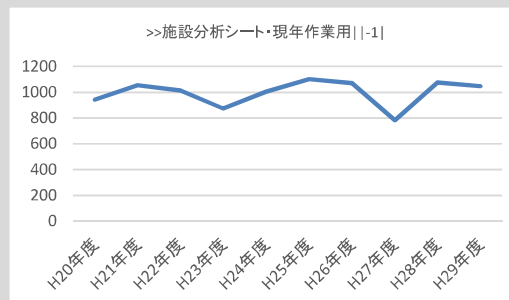
	指標	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却費(%)	-	-	100.0	100.0	
	有形固定資産減価償却率(80年)(%)	-	-	100.0	100.0	
	1㎡当たりコスト(円)	-	-	1,003	1,309	
	受益者負担比率(%)	-	-	24	15.3	
	開館1日当たりコスト(円)	-	-	15,173	19,802	
	利用者1人当たりコスト(円)	-	-	254	339	
	区民1人当たりコスト(円)	-	-	26	33	
備考	施設規模が大きくないため、開館1日当たり・利用者1日当たり・利用者1人当たりコストのいずれも他と比較して低コストで運営ができています。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(見込み)
	利用件数	目標値 -	-	-	1,100	1,100
		実績値 1,071	783	1,074	1,047	-
施設運営の方向性	<input type="radio"/> 転用・多目的化 <input type="radio"/> 民営化 <input type="radio"/> 他施設との統合 <input type="radio"/> 廃止 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> その他()					
管理形態の変更の推移	<input type="radio"/> 有 (変更内容:) <input checked="" type="radio"/> 無					
利用者・地域のニーズ	野球、サッカー以外にも、ゲートボール、地域のイベントなど様々な活用がなされている。					
現状・課題	<p>○多目的な利用(サッカー・野球・地域のイベント等)が可能のため、各団体ごとに求めるグラウンド条件が異なる。</p> <p>○強風時に砂ぼこりが発生しやすいため、近隣への対策が必要である。</p>					
課題に対する現時点での考え	<p>○グラウンド点検整備の充実を図る。</p> <p>○利用者とも協力して、散水を実施する。</p> <p>強風が予想される際には、事前に散水を行うなど、砂ぼこり発生を防ぐ取組を継続していく。</p>					
議会、利用者等からの意見	○H29決特 平日の運動場の開放について					



最近5年間では工事のあったH27を除き、概ね例年どおりの実績である。



最近5年間では工事のあったH27を除き、概ね例年どおりの実績である。

平成30年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S05-03-07		
施設名	西新井橋野球場				
所在地	足立区千住元町36番7号先				
部課名	地域文化スポーツ部スポーツ振興課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
	建築	昭和34年4月			
	増改築①	平成27年5月	101,079		
	増改築②				
併設施設					
竣工年月日	昭和34年4月		常勤・非常勤	その他	
供用開始年月日	昭和34年4月	職員数	0	1	
構造			階層		
面積	敷地面積		35,057		m ²
	延床面積				m ²
設置目的・経緯	区民の体力向上と健康の増進を図ることを目的とする。				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	荒川区営運動場の設置、管理に関する条例				
駐車場の状況	50台	バリアフリー	エレベーター	だれでもトイレ	
駐輪場の状況	約150台	対応状況	点字ブロック	スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	委託	下記のとおり	期間	下記のとおり 下記のとおり	から まで	
事業内容	①管理・補修業務(大人野球場5面、駐車場)：都立建設 (H30.4.1~H31.3.31) ②駐車場利用者確認業務(駐車場)：シルバー人材センター (H30.4.1~H31.3.31)					
対象者	一般区民他					
運営時間等	運営時間	4~9月6:00~18:00、10・3月7:00~17:00、11~2月8:00~16:00				
	休日	年末年始12/29~1/3				
施設基本データ等	野球場利用者数	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度(見込み)
		11,736	17,208	16,650	19,998	20,160
	野球場(件数)	652	956	925	1,111	1,120
	稼働率	13	13	10	15	-
	開場日数	360	360	359	359	359
	委託料(円)	9,349,927	11,999,751	13,003,856	17,370,097	-
	に指定 等管理 費用					
備考	H29は降雨による影響で休場した日が多かったが、平日利用者が増えたため全体として微増した。					

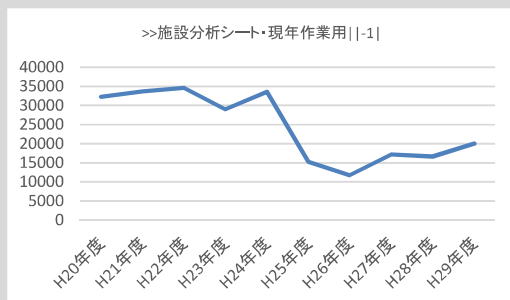
III 財務諸表

(単位:千円)								
行政コスト計算書	勘定科目	H28年度	H29年度	差額	勘定科目	H28年度	H29年度	差額
	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
	物件費	32,859	44,200	11,341	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	0	2	2	使用料及び手数料	612	687	75
	減価償却費	7,220	7,220	0	その他	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	612	687	75
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 39,467	▲ 50,735	▲ 11,268
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	40,079	51,422	11,343	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 39,467	▲ 50,735	▲ 11,268
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 39,467	▲ 50,735	▲ 11,268
貸借対照表	勘定科目	H28年度	H29年度	差額	勘定科目	H28年度	H29年度	差額
	流動資産	0	0	0	流動負債	0	0	0
	収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	賞与引当金	0	0	0
	有形固定資産	108,426	101,206	▲ 7,220	その他の流動負債	0	0	0
	土地	993	993	0	固定負債	0	0	0
	建物	14,660	14,660	0	特別区債	0	0	0
	建物減価償却累計額	▲ 1,534	▲ 1,982	▲ 448	退職給与引当金	0	0	0
	工作物等	101,223	101,223	0	その他の固定負債	0	0	0
	工作物等減価償却累計額	▲ 6,916	▲ 13,688	▲ 6,772	負債の部合計	0	0	0
	無形固定資産	0	0	0	正味財産	108,426	101,206	▲ 7,220
	建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	108,426	101,206	▲ 7,220
その他の固定資産	0	0	0	負債及び正味財産の部合計	108,426	101,206	▲ 7,220	
資産の部合計	108,426	101,206	▲ 7,220					
備考	行政費用では、物件費が多くかかっている。物件費の大部分を占めるのは委託料であり、主たる内訳は日常補修業務41,775千円、駐車場管理運営委託2,377千円である。日常補修業務(委託料・物件費)は「少年運動場」の経費も含む(一括契約)。平成28年度比較で経費が増しているのは、平成29年度から少年運動場多目的広場を通年開場していることによる。							

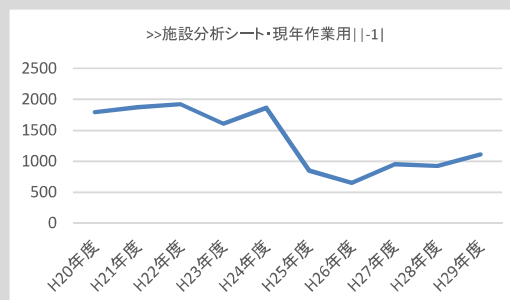
指標		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却費(%)	-	-	7	13.5	
	有形固定資産減価償却費(80年)(%)	-	-	7	12.6	
	1㎡当たりコスト	-	-	1,143	1,467	
	受益者負担比率(%)	-	-	2	1.3	
	開館1日当たりコスト(円)	-	-	111,641	143,237	
	利用者1人当たりコスト(円)	-	-	2,407	2,571	
	区民1人当たりコスト(円)	-	-	188	240	
備考	開館1日当たり、利用者1日当たりコストが高いのは、当施設は河川敷に設置しているため、平日の利用が少ないことによるものである。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(見込み)
目標指標	指標名・単位	目標値	-	-	-	1,000	1,300
	利用件数	実績値	652	956	925	1,291	-
施設運営の方向性	<input type="radio"/> 転用・多目的化 <input type="radio"/> 民営化 <input type="radio"/> 他施設との統合 <input type="radio"/> 廃止 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> その他()						
管理形態の変更の推移	<input type="radio"/> 有 (変更内容:) <input checked="" type="radio"/> 無						
利用者・地域のニーズ	大人の軟式野球会場として5面を有し、大会開催等の実施会場として需要が高い。						
現状・課題	○河川敷に設置しているため、河川管理上の制約があることから、施設の整備についても制約がある。						
課題に対する現時点での考え	○利用者にとって安全で利用しやすいよう、貸出ルールや運営方法などソフト面での対応について検討する。						
議会、利用者等からの意見	○H29年決特 トイレの手洗い場の案内について						



ここ数年間で利用数が増加している。



ここ数年間で利用数が増加している。

平成30年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S05-03-08		
施設名	少年運動場				
所在地	足立区小台一丁目22番地先				
部課名	地域文化スポーツ部スポーツ振興課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
	建築	昭和45年11月			
	増改築①	平成28年1月	79,380		
	増改築②				
併設施設					
竣工年月日	昭和45年11月		常勤・非常勤	その他	
供用開始年月日	昭和45年11月		職員数	0	
構造			階層		
面積	敷地面積		47,641 m ²		
	延床面積		m ²		
設置目的・経緯	区民の体力向上と健康の増進を図ることを目的とする。				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	荒川区営運動場の設置、管理に関する条例				
駐車場の状況	70台	バリアフリー	エレベーター	だれでもトイレ	
駐輪場の状況	約290台	対応状況	点字ブロック	スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	委託	下記のとおり	期間	下記のとおり	から	
				下記のとおり	まで	
事業内容	①管理・補修業務(少年野球場7面、サッカー場1面、多目的広場1面、駐車場) :ケルンビルシステム(H30.4.1~H31.3.31) ②駐車場利用者確認業務(駐車場):シルバー人材センター(H30.4.1~H31.3.31)					
対象者	一般区民他					
運営時間等	運営時間	4~9月6:00~18:00、10・3月7:00~17:00、11~2月8:00~16:00				
	休日	年末年始12/29~1/3				
施設基本データ等	野球場、サッカー場等利用者数	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度(見込み)
		47,176	59,680	87,508	79,824	90,800
	野球場、サッカー場等(件数)	2,518	3,200	4,712	4,218	4,800
	稼働率(野球場)	29	30	32	27	-
	稼働率(サッカー場)	30	31	27	28	-
	稼働率(多目的)	-	-	24	35	-
	開場日数	359	360	359	359	359
	委託料(円)	15,688,976	20,139,741	25,230,091	29,567,471	-
に指定 等管理 費用						
備考	H29は降雨による影響で休場した日が多く、利用者が微減している。					

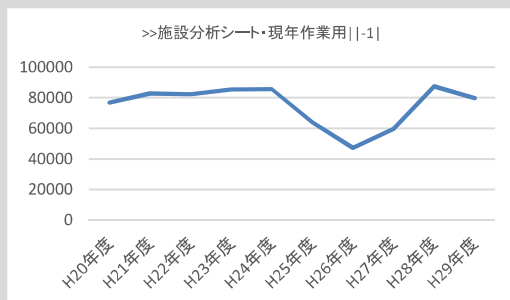
III 財務諸表

(単位:千円)								
行政コスト計算書	勘定科目	H28年度	H29年度	差額	勘定科目	H28年度	H29年度	差額
	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
	物件費	6,445	3,003	▲ 3,442	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	0	598	598	都支出金	0	0	0
	行政費用	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	858	1,041	183
	減価償却費	4,813	4,889	76	その他	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	858	1,041	183
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 11,582	▲ 10,738	844
	その他行政費用	1,182	3,289	2,107	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	12,440	11,779	▲ 661	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 11,582	▲ 10,738	844
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 11,582	▲ 10,738	844	
貸借対照表	勘定科目	H28年度	H29年度	差額	勘定科目	H28年度	H29年度	差額
	流動資産	0	0	0	流動負債	0	0	0
	収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	賞与引当金	0	0	0
	有形固定資産	25,348	26,337	989	その他の流動負債	0	0	0
	土地	0	0	0	固定負債	0	0	0
	建物	13,574	13,574	0	特別区債	0	0	0
	建物減価償却累計額	▲ 448	▲ 896	▲ 448	退職給与引当金	0	0	0
	工作物等	68,969	74,848	5,879	その他の固定負債	0	0	0
	工作物等減価償却累計額	▲ 56,747	▲ 61,189	▲ 4,442	負債の部合計	0	0	0
	無形固定資産	0	0	0	正味財産	25,348	26,337	989
建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	25,348	26,337	989	
その他の固定資産	0	0	0	負債及び正味財産の部合計	25,348	26,337	989	
資産の部合計	25,348	26,337	989					
備考	行政費用では、物件費とその他行政費用が多くかかっている。物件費の大部分を占めるのは委託料で、主たる内訳は駐車場管理運営委託に2,580千円を要している。日常補修業務(委託料・物件費)は「西新井橋野球場」に含む(一括契約)。その他行政費用は、設備改修工事に要した経費である。							

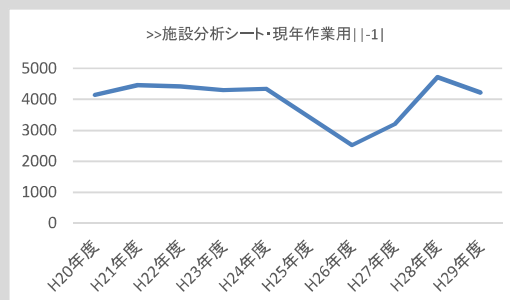
指標		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	-	-	69	70.2	
	有形固定資産減価償却費(80年)(%)	-	-	69.0	69.4	
	1㎡当たりコスト(円)	-	-	261	247	
	受益者負担比率(%)	-	-	7	8.8	
	開館1日当たりコスト(円)	-	-	34,652	32,811	
	利用者1人当たりコスト(円)	-	-	142	148	
	区民1人当たりコスト(円)	-	-	58	55	
備考	各コストとも、大きな変動なく推移している。 日常補修に要する経費が「西新井橋野球場」に含まれるため、開館1日当たり・1人当たりコストが低くなっている。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(見込み)
目標指標	指標名・単位						
	利用件数	目標値	-	-	-	4,800	4,800
		実績値	2,518	3,200	4,712	4,218	-
施設運営の方向性	<input type="radio"/> 転用・多目的化 <input type="radio"/> 民営化 <input type="radio"/> 他施設との統合 <input type="radio"/> 廃止 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> その他()						
管理形態の変更の推移	<input type="radio"/> 有 (変更内容:) <input checked="" type="radio"/> 無						
利用者・地域のニーズ	少年野球7面を有し、大会開催等の実施会場として需要が高い。						
現状・課題	○河川敷に設置しているため、河川管理上の制約があることから、施設の整備についても制約がある。						
課題に対する現時点での考え	○利用者にとって安全で利用しやすいよう、貸出ルールや運営方法などのソフト面での対応について検討する。						
議会、利用者等からの意見	○H29年決特 トイレの手洗い場の案内について						



H29は降雪の影響で利用者が微減している。



H29は降雪の影響で利用者が微減している。